

平成30年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	介護健康課		
------	-------	--	--

基本目標	1 みんなで“支えあう”～ほっこり暮らせるまちづくり～
施策	3 高齢者福祉

事業の内容		具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1	在宅福祉サービス	寝具乾燥事業、配食サービス事業及びタクシー料金助成事業等を実施するとともに、一人暮らし支援のための緊急通報システムを設置し、ねたきり老人等介護手当支給を行った。	A	A
2	施設福祉サービス	老人憩いの家及びサングリーンハウス等の施設を指定管理により施設管理を委託し、施設管理を適切に実施していただくとともに、高齢者の就労の場又は集いの場として福祉サービスの提供を行うことができました。なお、サングリーンハウスの水耕栽培は廃止することと決定した。	A	B
3	相談・支援	包括支援センター業務を社会福祉協議会に委託し高齢者の相談・支援業務を実施しました。また、包括支援センターに認知症初期集中支援チームを配置し認知症に関する相談・支援体制の充実を図った。	A	A
4	社会参加・生きがいづくり	高齢者の生きがい活動の促進、就労機会を提供するシルバー人材センターへ補助金を交付し事業の促進を図った。宅老事業業務を社会福祉協議会へ委託し、地区宅老事業に対して支援を行った。	A	B
5				
6				

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(H34)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
1 認知症サポーター養成講座受講者数	認知症サポーター養成講座の受講者数（人）	2,254	3,065				
		4,354	○				
2 地区宅老(地区サロン)事業実施箇所数	地区宅老(地区サロン)事業を実施している数（か所）	16	20	年間1か所の増加を目標としていることから、達成したと考える			
		21	○				
3							
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題
<ul style="list-style-type: none"> 水耕栽培を廃止した後のハウス及びその土地(町有地1筆、借地2筆)の取り扱いについて 公共宅老事業の利用者の減少と地区宅老への支援のあり方について

評価を踏まえた来年度以降の改善策
<ul style="list-style-type: none"> サングリーンハウスの水耕栽培ハウス施設の今後について、2020(令和2)年度以降の具体的な動きに繋げるため、施設の取り壊し又は新たな利用、跡地の利用等について、今年度シルバー人材センターと協議検討予定である。 公共宅老事業及び地区宅老事業の内容見直しについて、2020(令和2)年度以降の実現を目指し、今年度において社会福祉協議会と検討する。

※1 事業の実効性 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%) C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%) C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)